

M I A NEWSLETTER

- 2008年1・2・3月号 -



<例会> 毎月原則第一水曜日 1:00 ティータイム 1:30~

例会はいつでも誰でも参加できるオープンな会です。どうぞお気軽にご参加ください。

<各委員会・同好会・活動報告> -1月から3月まで- (日付順)

世界の食文化研究会 インド料理 1/29(火) 12:30~ 参加者 20名

1月29日(火) 新年会を兼ねて 青葉台から5分ほどの所にあるインド料理店”アマル”で世界食文化の集まりを計画したところ 20の方が集まって下さいました。ランチコースはお料理が決まっているのですがこちらの希望を出した所 ランチコースには無い 豆のおせんべい、サモサを前菜に スープからゆっくりテーブルに運んで下さったので 私たちも2時間 時間を忘れておしゃべりが出来て良かったです。最後にはインド人の店長さんが 上手な日本語で私たちの質問に答えて下さって インドの雰囲気いっぱいの会になりました。(石飛)

ワークショップ おしゃれ塾 アフタヌーンティーパーティー 2/1(金) 参加者 14名 本間会員宅

2月1日春の花咲く本間邸に14名が集い、アフタヌーンティーとしゃれ込みました。美しいセッティングテーブルには、熱々のスコーンとジャム、クロッテッドクリーム、手作りのタルトとショートケーキ、全国で一位となったマカロンも取り寄せて下さり、色とりどり、味それぞれが並びました。ダージリンティーとマサラ・チャイ(インドの香辛料入りミルクティー)と共に優雅な気分で、賑やかに楽しみました。

食満ち満ちて、ひとりひとり一年の計を発表、なんと整理整頓が三人もいて大笑い。来年、あっと驚くことをしますからお楽しみに、という人もいたり、夢を語り合いました。また、自分の好みのレストラン情報を、星をつけて持寄り、おいしい今 を交換しました。

そのときのスコーンのレシピを本間さんから頂いたので書いてみます。(竹村)

スコーン (Scone) の作り方 (8個位)

材料 A 無塩バター 50g (5mm角位に小さく切る)
グラニュー糖 25g
B 薄力粉 225g
ベーキングパウダー 小さじ2・1/2
塩 小さじ1/2

牛乳 120cc 前後
溶き卵



作り方

Aをよく混ぜ、Bを加え、よく練り、牛乳を加えながら、耳たぶ位に捏ね、溶き卵を練り込んで、シートに広げ(1.5から2cm)スコーン型で型抜きをして、160℃~180度で膨らんでくるまで焼き上げる。(焼き色は薄めに)ストロベリージャム、ブルーベリージャム、蜂蜜、クロッテッドクリームなどをつけて食す。

異文化勉強会 シニアライフ 2/16(土) 参加者 41名(男性11名) 於) アルパイン

MIA 会員小川雅生夫妻の長年のご友人、ドイツのウィルトー・ケスタニッヒ夫妻が目下、日本に滞在して、ゆうゆう「シニアライフ」を満喫しておられることから、今回お二人にその充実した暮らしを紹介していただきました。

先ず、小川教授から、資料に沿ってドイツに関する概略説明、ドイツでの両家の親交の様子などを写真で紹介いただきました。

ケスタニッヒさんは著名な核物理学者ながら、今回は聴衆に合わせて、核物理学のかの字も発することなく、平易な英語でわかりやすく話して下さいました。



「退職したらどうやって暇をつぶすの?」とよく聞かれたそうです。でも、どうしてどうして、現役時代に勝るとも劣らない、やること一杯の充実したシニアライフを送っておられる様子。朝、出勤時間を気にせず3紙の新聞をじっくり読めるのも、今ならではの心豊かなひと時。読書も若い頃にはあまり関心のなかった分野にまで幅が広がり、絵を描いたり、木工をしたり、広い庭には丹精こめた美しい花が満杯。また夫妻でバックパックに必要最低限の物を詰めて連泊ハイキングや、国内、海外旅行をしたりして、美しい自然を観察し、その地の人々とふれあい、伝統文化への理解を深めることには興味が尽きず、無上の喜びを感じるそうです。

日本との対比では、1、ドイツは地続きなので、子どもの頃から自然に外国語を学ぶ機会が多いように思う。
2、現役時代も仕事一辺倒ではなく、週末はゆっくり家族との暮らしを楽しむなど、妻との共通の趣味を育ててきているので、退職後も夫婦単位で共に楽しむことが出来るように思う。

3、日本では退職後も第2の勤めに出る人がいるように見受けられるが、ドイツでは退職したらそれで完結。

4、ドイツは年金制度が充実していて、現役時代の収入の75~80%位の年金が確保できる。

5、ドイツでは老後も学ぶ機会に恵まれている。大学や地域の成人教育を活用して、語学から芸術分野、コンピューターに至るまで学び続けることが出来る。

お陰で私達も今日は大いに学びました。

伝統行事紹介 ひな祭り 2/24(日) 参加者 外国人15名(子供4名) MIA 会員11名 佐々木会員宅

2月24日〔日〕伝統文化紹介の行事〔ひな祭り〕が佐々木会員のお宅で美しく華やかに開かれました。総勢20余名、6カ国の男女、子供が集まり、みやびで、連綿と続く祭りの世界に招き入れるべく、飾りつけ、道具立て、おごちそうに、趣向を凝らしてありました。お雛様は佐々木さんのお母様の物だそうで、約80年前の物。少しセピアがかかった人形が何とも言えず優雅でした。

丁度、京都で今“源氏物語千年紀”の催しがあり、数日前それにとっぴり浸かってきた私は、夢の続きを見ているようで、少し現実離れた世界に遊んでしまいました。

私達には幼い頃のお雛様の思い出が懐かしく蘇ります。一年に一度その思いを皆で共有し、リニューアルする機会は私達日本人にとっても素敵なことと思われました。(長谷川幸)



ワークショップ 布遊び 2/26(火) 13:00~ 羽山会員宅

2月26日羽山さん宅で主に和布を使ってスカーフを作ろうという集まりをしました。友禅、ちりめん、羽二重、など、着物地の幅を生かして長さはまちまち、お好みで、と数枚のサンプルを参考に色々アイデア豊かなスカーフ、ショールを作る段取りをしました。時間がありませんでしたので、製作は各自ですることになりました。色々な布を愛でながら、アイデアが膨らんでいき、豊かな気分を満喫しました。

(長谷川幸)

—定期的な活動から—

<いけばな教室> 最近の出席者が3, 4人と減っていましたので寂しいと感じておりましたところ、1月に3人入会者があり、人数が増えて指導側としては嬉しいことです。(渡部(幸))

<日本語教室> いつも通り毎週火曜午前10:30～木曜夜19:00～日本語の授業を続けています。
3/20(木)が祭日のため木曜クラスは13日(木)が最終となります。(井上)

<ホームページ> ホームページも3年目。一步一步前進中。トップページも年明けは七転び八起きのネズミ君で始まり、今は雛祭りと旬の顔です。どうぞ皆さん是非見てください。
今後共、行事の終了後、写真やコメントなど、係りまでお知らせください。(山内)

<音楽> 2/16 異文化勉強会、ドイツのケスタニッヒ夫妻の「シニアライフ」のお話の日には、「野バラ」を日本語とドイツ語で、一緒に歌いました。(衛藤)
練習日：毎月原則第三木曜日10時から12時まで。小川会員宅。

例会ミニスピーチ報告

月日	例会 ミニスピーチ	スピーカー	内容
1/9(水)	三週間でアメリカ一周 	百瀬	70歳を目前に、3匹の愛犬のシッターさんを確保した上で、夫妻で4WDの愛車を駆って7/20から8/9まで3週間、アメリカをぐるり一巡りの旅を実現。パームスプリングスを起点にして「AAA」の地図を片手に、走行距離は約2万キロに及び、給油は22回。各地の国立公園など37箇所の風光明媚な観光スポットをくまなく、美しい写真で紹介下さいました。アメリカの広さを改めて実感！
2/6(水)	インドを旅して 	本庄谷 長谷川幸 竹村 サリー姿で	旅行者の目で見た「不思議の国インド」を三人三様の切り口で紹介。ムガル帝国時代の赤い城が聳えるオールドデリー、お釈迦様の聖地サルナート、高貴な佇まいのタージ・マハル、ガジュラホの寺院群、さらに衝撃的だった生と死が隣合せのパナール、路上に繰り広げられる人と動物の共生、整然とした官庁街とスラムの対比、乗客が鈴なりの列車、圧巻の洗濯場、ああ、とても語りつくせず・・・。

編集後記

広報部員7名にて、2007年度も3月ごと年4回のMIA Newsletterを何とか発行することができました。超特急で原稿を仕上げ、写真を送ってきて下さった皆様には、ご協力心より感謝申し上げます。

今年度、ホームページ部会との連携を強め、ホームページにリンクした形で徐々にNewsletterも読んでいただけるように、という方向で進めてきました。

ただ、紙の良さも捨てがたく、当面、紙とネットの二本立てで行きたいと思っております。

今後も皆様にお知恵をいただきながら、より良い紙面作りに努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。



広報部員一同